

平成27年度 学校教育診断集計結果について (3)

今回は、学校教育診断集計結果の最終報告です。

<家庭や地域の信頼にこたえる学校づくり>

診断内容	設 問 内 容	本年度	昨年度	比較
15 保護者や地域の人たちとの連携	生徒 ：授業参観や総合的な学習の時間等で、家族や地域の人たちに学校へ来ていただく機会がある。	3. 5	3. 4	+0. 1
	保護者 ：学校は、授業を公開したり、子どもたちが地域の人たちに教えてもらう機会を設けている。	3. 3	3. 3	±0
16 危機管理体制(安全対策)	生徒 ：安心して学校生活を送ることができる。	3. 5	3. 5	±0
	保護者 ：学校は、生徒が安心して学校生活を送れるよう安全に配慮している。	3. 2	3. 2	±0
17 情報発信の努力	保護者 ：学校は、懇談会や通信・ホームページなどで教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。	3. 2	3. 2	±0
18 情報受信の努力	保護者 ：学校は、親や地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。	3. 2	3. 1	+0. 1
19 教職員の対応(接遇)	保護者 ：学校(教職員)は、電話での問い合わせや学校を訪問したときに、誠実に対応している。	3. 4	3. 3	+0. 1

「15 保護者や地域の人たちとの連携」については、生徒の評価が高くなっています。これは、前号でもふれたように、コミュニティスクールとしての取組が影響しているものと考えられます。

この評価項目に関連することとして、先週通知いたしましたように2月8日(月)～13日(土)にかけて学校公開週間を実施します。特に13日は、本年度最後の土曜授業の取組として、各学年が総合的な学習の時間の発表をします。

内容は、1年生は地域の防災環境・地場産業の学習、八郷フェスタの参加をとおした「地域理解」、2年生は地域の事業所を中心とした「職場体験」、3年生は清掃ボランティア、老人会との交流、フラワーオアシスによる「地域貢献」を、映像等により発表します。多くの保護者の方にご参観いただき、本校教育活動のご理解を賜りたいと思います。

最後に、平成27年度学校教育診断全体を通して、昨年度よりも評価が低下した項目がなかったことは、学校として大変ありがたいことと捉えています。次年度も、今回の評価に甘えることなくより充実した教育活動をめざし取り組んでまいります。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。